

子供の歯が教えてくれること

「どうしたら歯磨きをさせてくれるでしょうか？」ママ達からの切実な相談です。0～3歳の親子向けに、ことばのコミュニケーション力を育む教室「おやこみゆ」を主宰していますが、話すためにお口を育むことを併せて、歯の大切さも考えていただいています。

「最初に歯ブラシを嫌がるのは、異物だと思つて身を守ろうとしている証拠だから、良いことだったんですね！」と知ると、ママたちは安心します。だから歯の生え始めは、ママの綺麗な指で唇や歯茎を優しく触るところからコミュニケーションをとり、歯ブラシに慣れていきます。さらに赤ちゃんは、ママの顔を逆さ顔ではなく、正面から見ること認識し始めるので、笑顔で目を見つめ合つて歯磨きすると上手くいくようです。

「私の顔真似もとても上手にできるんですね！」ママが「あー」と大きなお口を開けると真似をしてお口を開けて奥歯を磨き、「いー」と前歯を出すと、同じように真似をする。楽しく歯磨きができたら理想的です。

ママ達は、子供の歯を守ろうと一生懸命で、とても熱心です。中には、チョコレートを与えなければ、虫歯にならないと勘違いしていたり、熱中症対策で寝ながら哺乳瓶でスポーツ飲料を飲ませ続けてしまつたりと、正しい知識がないために、良かれと思つて、実は歯に悪いことをしてしまつている場合もあるようです。

おっぱいを吸うことも、喃語を話すことも、大声で泣くことも、実はお口周りの筋肉や舌を使い、お口を育んでいるのだと知ると、今までストレスに感じていたことも愛おしく感じられるようになります。

子供を見つめることは、自分の原点を知ること。子供の歯を育みながら、自分を育ててくれた全てに感謝の気持ちを持たれたら良いなと思えます。

「出典」天野ひかり（フリーアナウンサー）日歯広報

歯のクイズ

(1) 一生伸び続ける歯を持っている動物は？

- A. カバ
- B. パンダ
- C. キリン

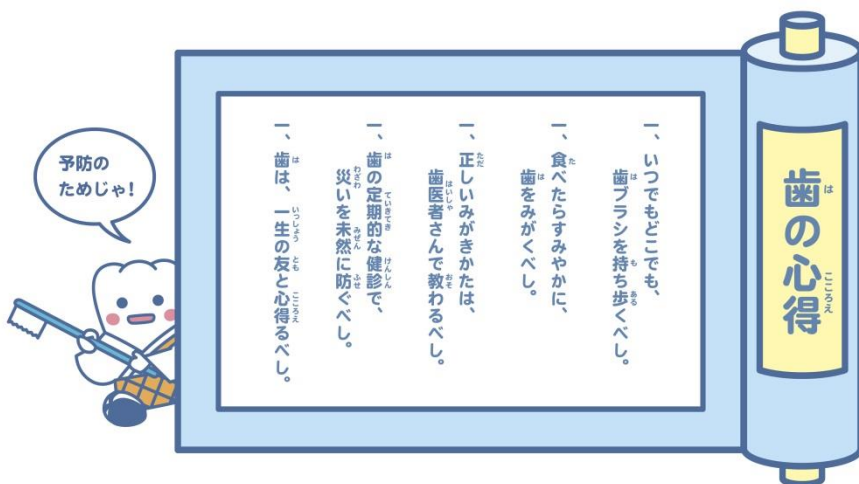
(2) 魚のコイは、どんな歯がある？

- A. 歯がない
- B. 口に歯がある
- C. のどの奥に歯がある。

(3) 歯磨きの習慣は何と一緒に日本へ伝えられたでしょうか？

- A. 仏教
- B. キリスト教
- C. 鉄砲

クイズ正解は右下です



「歯の心得」

- 一、正しいみがきかたは、歯医者さんで教わるべし。
- 一、歯の定期的な健診で、災いを未然に防ぐべし。
- 一、歯は、一生の友と心得るべし。
- 一、食べたらすみやかに、歯をみがくべし。
- 一、正しいみがきかたは、歯医者さんで教わるべし。
- 一、歯の定期的な健診で、災いを未然に防ぐべし。
- 一、歯は、一生の友と心得るべし。